

# KÄRCHER

## BR 30/1 C Bp

### 目次

一般的な注意事項	2
環境保護	2
安全注意事項	2
規定に沿った使用	3
同梱品	3
機器に関する説明	4
機器の準備	5
機器の使用	6
機器の運搬	12
保管	12
機器の清掃	12
故障かな?と思ったら	17
保証	19
付属品と交換部品	19
テクニカルデータ	19



## 一般的な注意事項

使用する前に機器、バッテリー、および充電器に同梱されている取扱説明書をお読みになり、記載事項に従ってください。

同梱されているすべての取扱説明書は、いつでも閲覧できるように大切に保管してください。

- 取扱説明書に従わないと、機器が損傷したり、使用者や他の人に危険がおよぶ可能性があります。
- 開梱時に機器損傷があった場合は、直ちに販売店にご連絡ください。
- 開梱時に機器損傷がないか、同梱品が揃っているか、梱包の中身を確認してください。

## 環境保護



梱包材はリサイクル可能です。各自自治体の規定に沿ってリサイクル処理してください。



電気および電子機器には、誤って取り扱ったり廃棄したりすると、人間と環境に危険を及ぼす可能性があるバッテリーやバッテリーあるいはオイルなどの構成要素が含まれています。これらは機器が適切に機能するために必要な構成要素です。このシンボルが表記されている機器は、各自自治体の規定に従って廃棄してください。

## 安全注意事項

当機器の最初の使用前には、取扱説明書をお読みください。記載事項に従ってください。本製品に同梱されているすべての取扱説明書は、いつでも閲覧できるように大切に保管してください。

- 取扱説明書内の備考の他に、使用国の一般的な安全 / 事故防止規定を順守してください。
- 機器に貼られている警告標識や注意標識は、安全な使用のための重要な注意情報を提供するものです。

## 安全上のご注意

### ⚠ 危険

この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

### ⚠ 警告

この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

### ⚠ 注意

この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

### 注意事項

この注記は機器の誤った取り扱いにより、物的損害につながる可能性がある注意事項が記載されています。

## バッテリーと充電器

バッテリーと充電器に付属している取扱説明書と安全に関する注意事項をお読みください。この機器は、スペアパーツリストに記載されているバッテリーパワーおよびバッテリーパワープラスで使用できます。

## 安全な取扱い

### ⚠ 危険

窒息の危険がありますので、包装材に子供が近寄らないようにしてください。

### ⚠ 警告

- 機器の取り扱いについて指導を受けた、または操作スキルを保持している人を本機器の使用者としてください。
- 取扱説明書に従って使用してください。作業時には、現地の状況・条件を考慮し、第三者、特に子供に注意してください。
- 危険エリア（ガソリンスタンドなど）では、その場所における安全規定を順守してください。爆発の危険のある環境では絶対に使用しないでください。
- 子供ならびにこの機器に慣れていない人は使用しないでください。使用する地域の法規制によっては使用者に年齢制限がかかることが

あります。

- 身体的、感覚的、または精神的な能力に制限がある人（子供を含む）、または経験と知識が不足している人が使用してはいけません。
- 子供が本機器を玩具として遊ばないように触らせないでください。
- 回転しているマイクロファイバークローラーに体の部分（指、髪など）を近づけないでください。
- 尖った物体（破片など）による怪我の危険がありますので、クリーニング中は手を保護してください。

#### △ 注意

- 機器の落下、損傷、水没・水濡れが確認できる場合は機器を使用しないでください。
- 機器の使用や保管を行う際には、必ず取扱説明書に従ってください。
- 機器の動作中は、機器を絶対に放置しないでください。
- お手入れやメンテナンス作業の前には、必ず機器の電源を OFF にして、バッテリーを取り外してください。

#### 注意事項

- 屋内でのみ使用してください。
- 給水タンクには溶剤、溶剤を含む液体、または希釈されていない酸（洗剤、ベンジン、塗料シンナー、アセトンなど）を決して入れないでください。機器損傷の原因となります。
- 機器の電源を ON にする前に、必ず清水タンクと汚水タンクが装着されていることを確認してください。
- 鋭利な物や大きな物、例えば破片、小石、瓶、おもちゃのパーツなどが機器に触れないようにしてください。
- 清水タンクには酢酸、洗剤、エッセンシャルオイルなどを入れないでください。また、機器がこれらの物質を吸収しないように注意してください。
- 防水コーティングが施された硬い床（例：ニス塗りの板床、エナメルタイル、リノリウムなど）でのみ使用してください。
- カーペットやカーペットフロアの清掃には使用しないでください。
- 対流式ヒーターのフロアグリルの上に機器を

走らせないでください。水がグリルを介して誘導されている場合、機器は漏れ出す水を吸収することはできません。

- 室温が 0° C 未満の場合は本機器を使用しないでください。
- 機器は室内で保管してください。

## 電気部品

#### △ 危険

- 機器が水に浸すのは絶対にやめてください。
- 接点や配線には絶対に触れないでください。

#### △ 警告

機器には電気部品が含まれているため、流水で機器を清掃しないでください。

#### △ 注意

機器が故障した場合は販売店またはお近くの認可カスタマーサービスへお問い合わせください。

## 規定に沿った使用

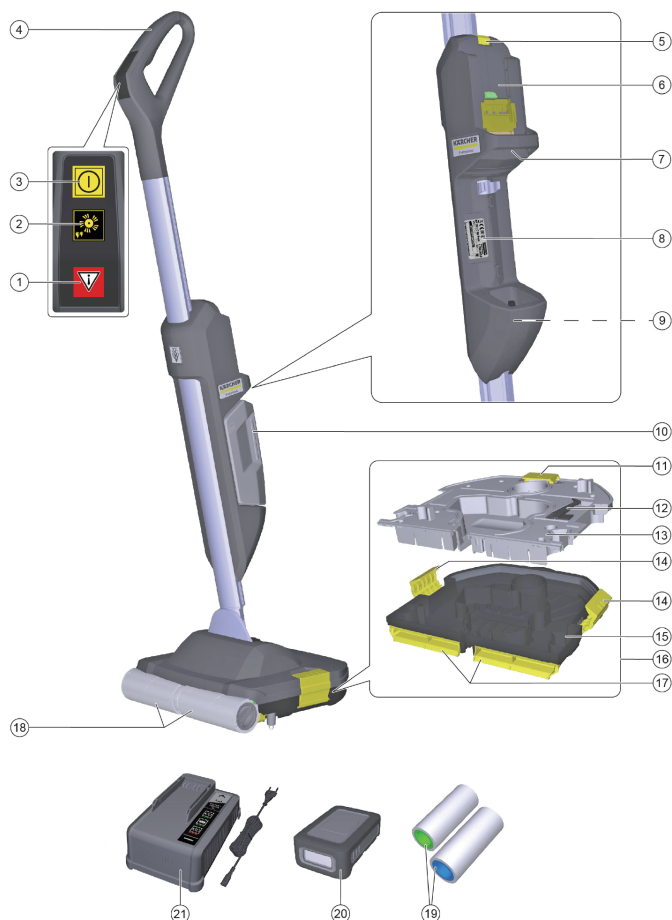
この機器は、ホテル、学校、病院、工場、店舗、オフィス、レンタル会社などでの商用および産業用に適しています。この機器を使用する際は、必ず取扱説明書に記載された指示に従ってください。

- この機器は、湿気や研磨の影響を受けない滑らかな床の掃除にのみ使用できます。
- この機器は、凍った床のクリーニングには適していません（例：冷蔵倉庫など）。
- この機器は、爆発の可能性のある環境での使用には適していません。

## 同梱品

開梱時に同梱品が揃っているか確認してください。同梱品が欠けている場合や損傷がある場合は、販売店にご連絡ください。

## 機器に関する説明



- ①警告ランプ
- ②ブースト機能ボタン
- ③ ON/OFF スイッチ
- ④ハンドル
- ⑤バッテリーのロック解除ボタン
- ⑥バッテリーホルダー
- ⑦グリップシールド
- ⑧銘板
- ⑨清水フィルター
- ⑩清水タンク
- 品番：タンク 5.030-031.3  
黄色キャップ 5.030-038.3  
黒色バルブ 4.055-112.0
- ⑪カバーグリップ
- ⑫クリーニングブラシ 品番：4.055-195.0
- ⑬カバー
- ⑭ロックフラップ
- ⑮汚水トレイ
- ⑯汚水タンク
- ⑰プレスリーブ
- 品番：画像左側 5.030-039.3  
画像右側 5.030-040.3
- ⑱マイクロファイバーローラー 品番：4.030-088.0
- ⑲ストーンローラー（別売） 品番：4.030-126.0
- ⑳充電式バッテリーパック バッテリーパワープラス 18/30（別売）
- ㉑バッテリーパワープラス 急速充電器 18/60（別売）

## 機器の準備

### バッテリーを充電する

バッテリーを充電します（バッテリーと充電器の取扱説明書を参照してください）。

### バッテリーを装着する

1. バッテリーをバッテリーホルダー内に、カチッと音を立ててはまるまでスライドさせて装着します。



### 洗剤およびケア製品

#### △ 注意

#### 純正品以外の洗剤を使用しない

- ・純正品以外の洗剤を使用すると、機器が損傷し、保証対象外になる場合があります。
- ・ケルヒャー製の洗剤のみを使用してください。
- ・正しい希釈率を守ってください。

#### 注意事項

必要に応じて、ケルヒャー製の洗剤を使用し、床をクリーニングします。

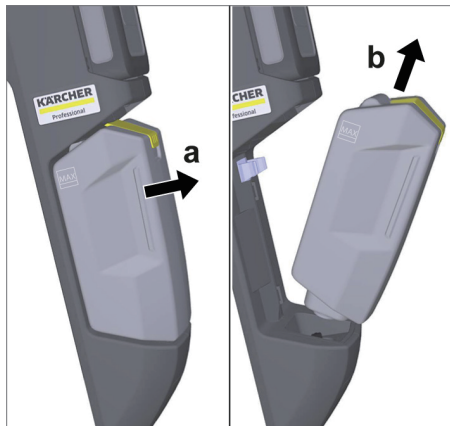
- ・洗剤を投与するときは、指定の量を守ってください。
- ・泡ができるのを避けるために、清水タンクには最初に水を充填し、その後で洗剤を入れてください。
- ・洗剤が清水タンクからあふれないように、

水を充填し過ぎないようにしてください。

### 清水タンクを充填する

1.

清水タンクの側面のくぼんだグリップをつかみ、清水タンクを機器から取り外します。



2.

タンクキャップを開きます。



3.

清水タンクに、MAX マークまで冷水またはぬるま湯（いずれも水道水、最高 40℃）を充填します。

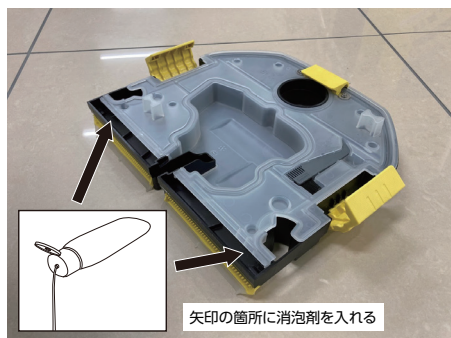
4.

必要に応じて、ケルヒャー製の洗剤を清水

タンクに加えます。

## 5.

RM732 など、泡の出やすい洗浄剤は必要に応じて汚水タンクに消泡剤を入れてください。



### △ 注意

#### 洗浄剤は適量を使用する

洗浄剤が多すぎたり少なすぎると、うまく洗浄できない可能性があります。洗浄剤の推奨投与量を順守してください。

## 6.

タンクキャップを閉じます。

## 7.

カチッと音を立てて所定の位置に収まるまで、清水タンクを機器に装着します。

## 機器の使用

### 操作に関する一般的な注意事項

### △ 注意

傷つきやすい床をむやみにクリーニングしない

- ・機器の使用前に、目立たない場所の床で耐水性を確認してください。
- ・水に弱い表面（未処理のコルク床など）はクリーニングしないでください。湿気が床に浸透して損傷する可能性があります。

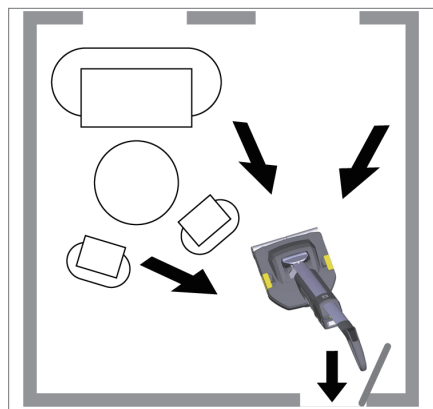
水分と洗浄剤で床やマイクロファイバークローラーを傷めないように、長時間のクリーニングを控える

### 機器が転倒しないようにする

- ・クリーニング中断時やクリーニング終了後は、機器の電源をOFFにして、ハンドルをパーキングポジションに移動してください。
- ・機器をどこかに置くときは、壁、ドアなどには立てかけないでください。

### クリーニング中の破片や小石のような物体による損傷を防止

- ・破片や小石のような物体が汚水タンクの下に挟まって動かなくなったり、床や汚水タンクにひっかき傷がつく原因になる場合があります。硬くて粗い汚れや硬い物体の上で機器を使用したり、または保管したりしないでください。
  - » クリーニング前には、あらかじめ破片や小石のような物体を床や保管場所から取り除いてください。
  - » 最適な洗浄結果を得るために、初めて使用する際は、60°Cのお湯を使い洗濯機でマイクロファイバークローラーを洗ってください。
  - » クリーニングしたばかりの床に靴の跡が残らないように、図のようにドアに向かって後ろ向きに進みながらクリーニングしてください。



床のクリーニングは、掃除機をかけるときと同じ速度で機器を前後に動かして行います。

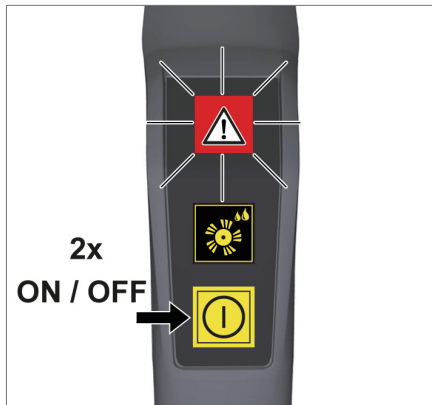
- » 汚れがひどい場合は、ブースト機能を使用します。ブースト機能ボタンを押している間はマイクロファイバークローラーの回転数と水の量が増加します。機器に圧力をかけずに、ゆっくりと床を横切るように機器をスライドさせます。



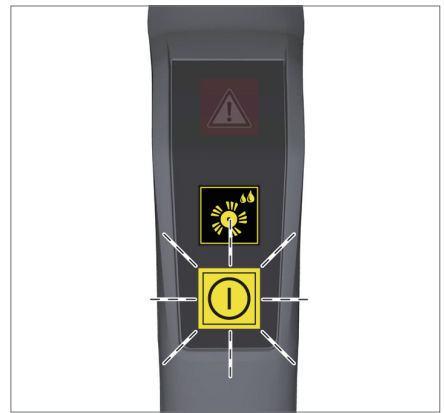
- » 何かが挟まったりしてマイクロファイバーローラーが詰まった場合は、機器の電源は OFF になります。警告ランプが点灯し、詰まりを取り除きます。機器を再び ON にするには、ON/OFF スイッチを 2 回押します。

### 注意事項

- ON/OFF スイッチを 1 回押すとエラーがクリアされ、2 回押すと機器の電源が ON になります。
- ON/OFF スイッチを押さないと、10 秒後に警告灯が消灯します。機器の電源を ON にするには、ON/OFF スイッチを 1 回押します。



- » バッテリーがほとんどなくなると、ON/OFF スイッチが点滅し始めます。

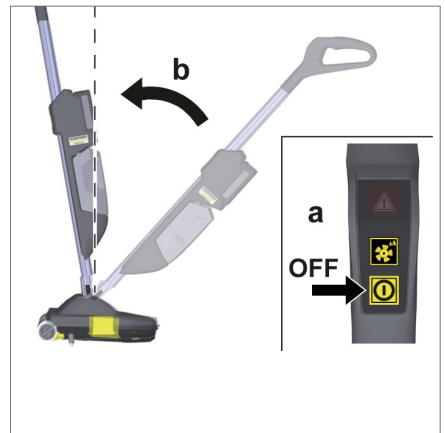


- » ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。機器からバッテリーを取り外し、充電します (P.10「使用の終了」を参照)。

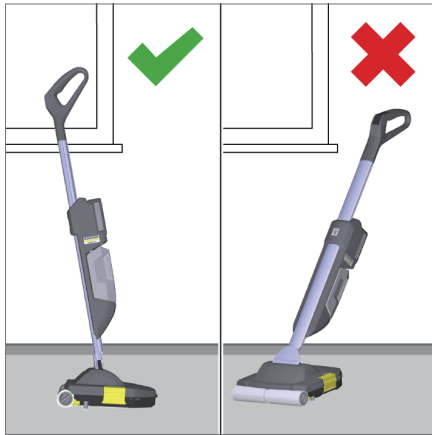
### 注意事項

バッテリーの過放電による劣化を防ぐために、バッテリーが完全に放電される前に機器は自動的に OFF になります。

- » クリーニング中断時やクリーニング終了後は、機器の電源を OFF にして、ハンドルをパーキングポジションに移動してください。ハンドルがパーキングポジションにあるときは、マイクロファイバーローラーは床に触れません。



- » 機器を停止して置いておくときには、壁、ドアなどに立てかけず、ハンドルをパーキングポジションに移動させます。



## クリーニングを開始する

### △ 注意

#### 制御できない状態で電源を入れない

機器の電源を入れると、すぐにマイクロファイバーローラーが回転し始めます。機器が勝手に移動しないよう、ハンドルをしっかり持ってください。

#### 機器の使用前に清水タンクと汚水タンクの装着を確認

クリーニングを開始する前に、清水タンクが水で満たされていること、汚水タンクが機器に装着されていることを確認してください。

### 1.

機器のマイクロファイバーローラーを取り外します (P.15「マイクロファイバーローラーを清掃する」を参照)。

### 2.

マイクロファイバーローラーをきれいな水で湿らせます。

### 3.

マイクロファイバーローラーを取り付けます。

### 4.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を ON にします。



### 5.

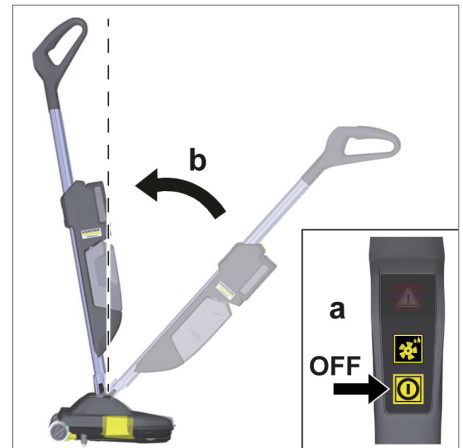
頑固な汚れをクリーニングするには、ブースト機能を使用します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

清水タンクが空になるか、機器が水分を吸収しなくなって床に水が残るようになったら、すぐに汚水タンクを空にします。

## 汚水タンクを空にする

### 1.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。



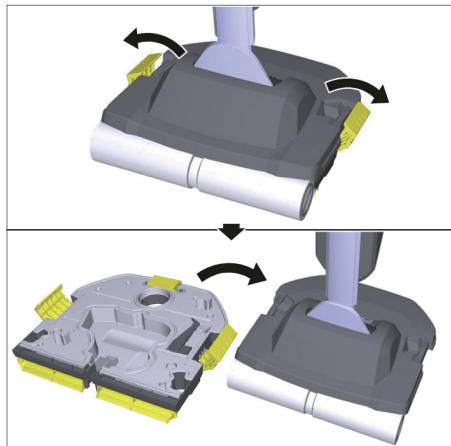
### 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。



### 3.

2つのロックフラップを両方外します。



汚水タンクが機器から外れます。

### 4.

機器を持ち上げて汚水タンクの脇に置きます。

### 5.

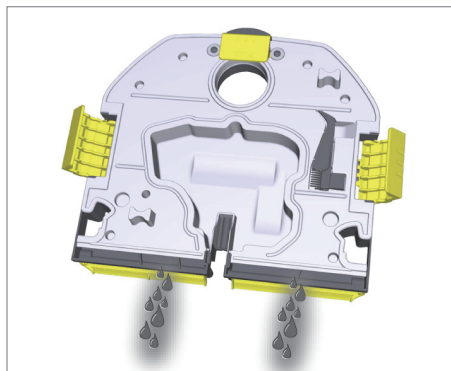
汚水タンクを運ぶときには、汚水タンクのカバーを持たず、両手で汚水タンクの側面を持ってください。汚水タンクは水平に保ちます。さもないと、汚水が流れ出すおそれがあります。

### 6.

汚水タンクを空にします。

#### △ 注意

汚水は各自治体の規定に従い、適切に処理してください。



頑固な汚れの場合は、汚水タンクを水道水で洗い流してください (P.13「汚水タンクを清掃する」を参照)。

### 7.

プレスイープを清掃します (P.14「プレスイープを清掃する」を参照)。

### 8.

逆の順序で機器に汚水タンクを装着します。



#### △ 注意

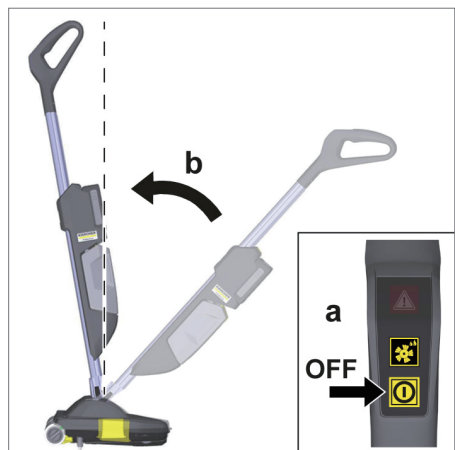
水分と洗剤で床やマイクロファイバーローラーを傷つけないため、長時間のクリーニングを控える

#### 機器が転倒しないようにする

- ・クリーニング中断時やクリーニング終了後は、機器の電源をOFFにし、ハンドルをパーキングポジションに移動してください。
- ・機器をどこかに置くときは、壁、ドアなどには立てかけないでください。

### 1.

ON/OFFスイッチを押して、機器の電源をOFFにします。



### 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

## マイクロファイバーローラーをすすぐ

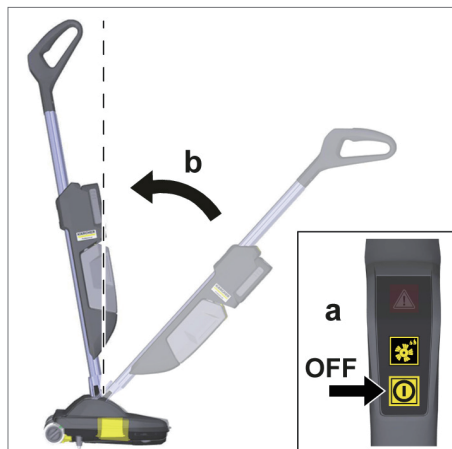
すすぎ機能により、汚れがひどい場合でも、マイクロファイバーローラーの中間クリーニングを行うことができます。

### 注意事項

作業の終了時、および機器を保管する前には、マイクロファイバーローラーを取り外して、流水または洗濯機で洗浄する必要があります (P.15「マイクロファイバーローラーを清掃する」を参照)。すすぎ機能は一時的なものです。作業の終了後は、きちんとマイクロファイバーローラーを洗浄してください。

### 1.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。



### 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

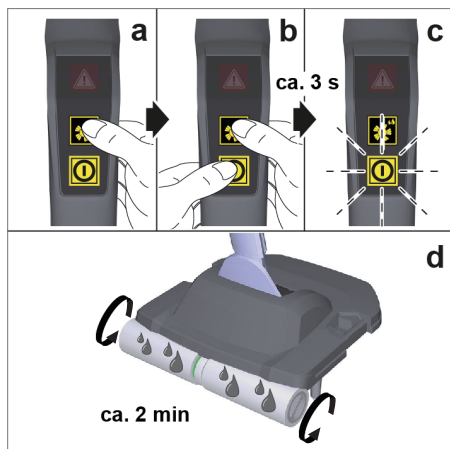
### 3.

清水タンクの充填レベルを確認してください。充填レベルは 50% 以上でなくてはなりません。

必要に応じて、清水タンクを充填します (P.5「清水タンクを充填する」を参照)。

### 4.

ブースト機能ボタンを押したまま保持します。



### 5.

ON/OFF スイッチを押したまま保持します。約 3 秒後にすすぎ機能が作動し、マイクロファイバーローラーが回転してすすぎが行われ、ON/OFF スイッチが点灯します。

### 6.

ブースト機能ボタンと ON/OFF スイッチを放します。

### 7.

機器は約 2 分後に自動的に OFF になります。すすぎ機能は、ON/OFF スイッチを押すことでいつでも終了できます。

### 8.

汚水タンクを空にします (P.8「汚水タンクを空にする」を参照)。

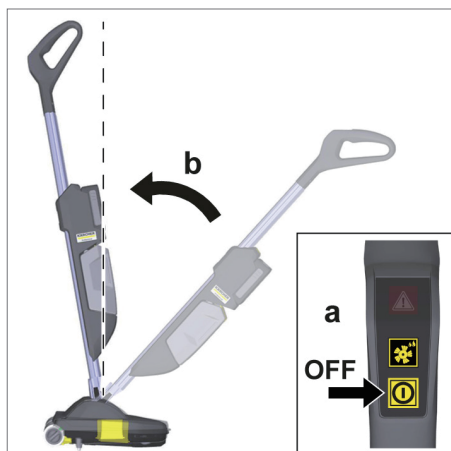
### 9.

清水タンクの充填レベルを確認し、必要に応じて清水タンクを充填します (P.5「清水タンクを充填する」を参照)。

## 使用の終了

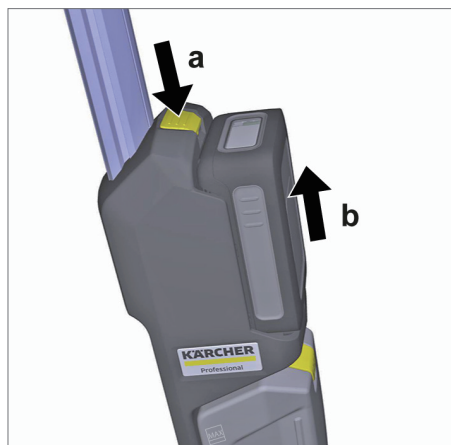
### 1.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。



**2.**  
ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

**3.**  
バッテリーのロック解除ボタンを押して、バッテリーをバッテリーホルダーから引き出します。



**4.**  
バッテリーを充電します。  
機器の使用後はバッテリーが残っている状態でも充電してください。

**△ 注意**  
機器に付着した汚れを放置しない

機器に付着した汚れは、機器に損傷を与えるおそれがあります。クリーニング終了ごとに機器を完全に清掃することをおすすめします。

**5.**  
機器を清掃します (P.12「機器の清掃」を参照)。

## 機器を保管する

**△ 注意**  
機器の保管前に水分を除去する

- 機器内の液体や湿った汚れはそのままにすると細菌が繁殖して、臭いの発生につながる可能性があります。
- 機器内およびマイクロファイバーローラー上に付着した湿った汚れは、乾燥すると機器のクリーニング性能を損なう可能性があります。
- クリーニング終了時および機器を保管する前に、清水タンクと汚水タンクを空にしてください。
- 汚水タンク、プレスイープ、マイクロファイバーローラーを清掃してください。
- きれいなマイクロファイバーローラーは、機器に取り付けるか、または直立させて空気乾燥させてください。湿ったマイクロファイバーローラーを湿気の高い場所、密閉された場所や棚の中に保管しないでください。

**1.**  
機器を清掃します (P.12「機器の清掃」を参照)。

**2.**  
汚水タンクを清掃します (P.13「汚水タンクを清掃する」を参照)。

**3.**  
プレスイープを清掃します (P.14「プレスイープを清掃する」を参照)。

**4.**  
マイクロファイバーローラーを清掃します (P.15「マイクロファイバーローラーを清掃する」を参照)。

## 5.

バッテリーを充電します（バッテリーと充電器の取扱説明書を参照してください）。

## 6.

ハンドルをパーキングポジションに移動し（P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照）、乾燥した屋内に保管してください。

## 機器の運搬

### △ 注意

#### 機器運搬時の転倒・転落を防止する

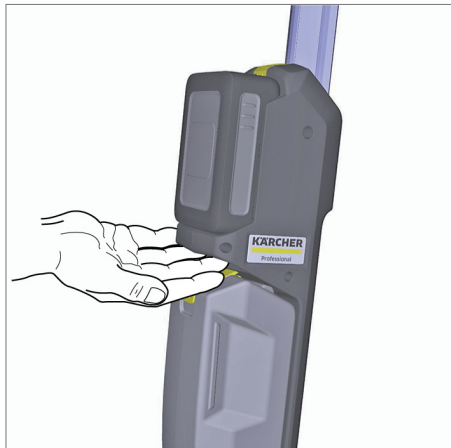
輸送の際には装置の重量に注意してください。

## 1.

機器を運ぶには、バッテリーホルダーの下のグリップシェルをつかみます。

## 2.

機器を車両で運搬する場合は、機器が滑ったり転倒したりしないように固定してください。



## 保管

### △ 注意

#### 機器保管時の転倒・転落を防止する

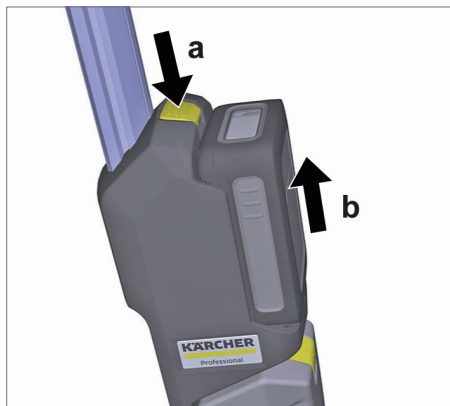
保管の際には装置の重量に注意してください。

#### 長期間の保管前には、清水タンク、汚水タンクを空にする

冬期に凍結して機器が破損する原因となることがあります。

## 1.

バッテリーの放電を防ぐために、バッテリーのロック解除ボタンを押して、バッテリーをバッテリーホルダーから引き出します。



## 機器の清掃

### 機器の清掃

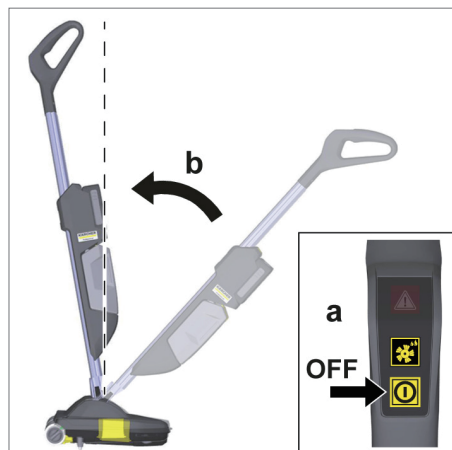
### △ 注意

#### 機器の水分を除去する

- 機器内の液体や湿った汚れはそのままにすると細菌が繁殖して、臭いの発生につながる可能性があります。
- 機器内およびマイクロファイバーローラー上に付着した湿った汚れは、乾燥すると機器のクリーニング性能を損なう可能性があります。
- クリーニング終了時および機器を保管する前に、清水タンクと汚水タンクを空にしてください。
- 洗浄液と汚水は、各自自治体の規定に従い、処理してください。
- 汚水タンク、ブレスイブ、マイクロファイバーローラーを清掃してください。
- きれいなマイクロファイバーローラーは、機器に取り付けるか、または直立させて空気乾燥させてください。
- 湿ったマイクロファイバーローラーを湿気のある場所や密閉された容器に保管しないでください。

## 1.

ON/OFFスイッチを押して、機器の電源をOFFにします。



## 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

## 3.

湿った布で機器表面の汚れや洗浄剤の残留物を拭き取ります。

## 4.

清水タンクを取り出し、空にして再び機器に装着します (P.5「清水タンクを充填する」を参照)。

### 汚水タンクを清掃する

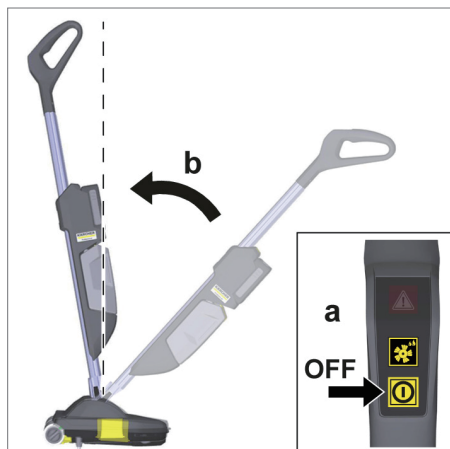
#### △ 注意

#### 機器に付着した汚れを放置しない

機器に付着した汚れは、機器に損傷を与えるおそれがあります。クリーニング終了ごとに機器を完全に清掃することをおすすめします。汚水タンクは定期的に清掃してください。

## 1.

ON/OFFスイッチを押して、機器の電源をOFFにします。



## 2.

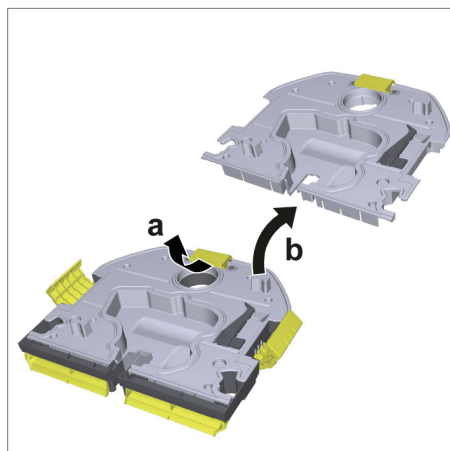
ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

## 3.

汚水タンクを空にします (P.8「汚水タンクを空にする」を参照)。

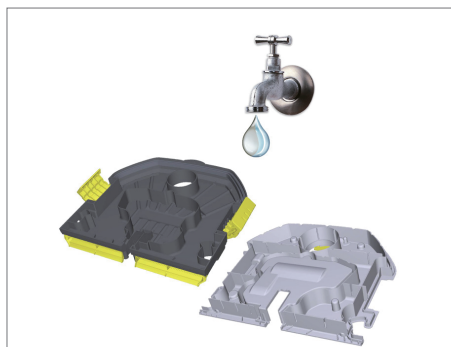
## 4.

カバーグリップを引いて、カバーを取り外します。



## 5.

トレイとカバーを水道水で洗浄します。



## 6.

トレイとカバーは自然乾燥させるか、または糸くずの出ない布で拭いて乾かします。

## 7.

汚水タンクを逆の順序で組み立て、機器に装着します。

### プレスイープを清掃する

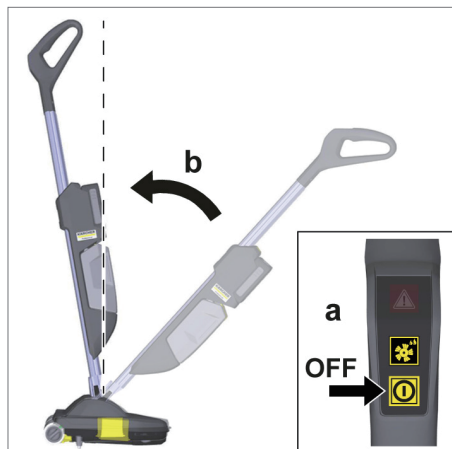
#### △ 注意

#### 機器に付着した汚れを放置しない

機器に付着した汚れは、機器に損傷を与えるおそれがあります。クリーニング終了ごとに機器を完全に清掃することをおすすめします。汚水タンクは定期的に清掃してください。

## 1.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。



## 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動します (「P.6 「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

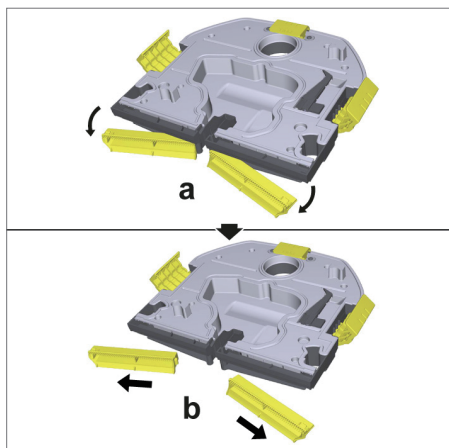
## 3.

汚水タンクを取り外します (P.8 「汚水タンクを空にする」を参照)。

## 4.

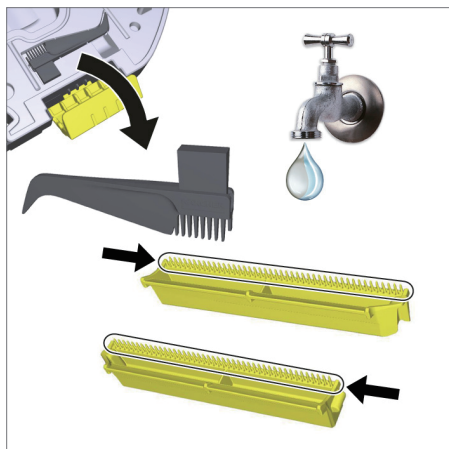
プレスイープを取り外します。

- プレスイープを横向きに外し、前方に振りまわす。
- プレスイープを横向きに取り出します。



## 5.

流水で両方のプレスイープを洗浄します。



## 6.

汚水タンクのカバーからクリーニングブラシを取り出し、コームにこびりついた汚れ（図の矢印で示した箇所）に取り除きます。

## 7.

両方のプレスイープを逆の順序で取り付けます。

### マイクロファイバーローラーを清掃する

#### △ 注意

#### マイクロファイバーローラーの水洗い

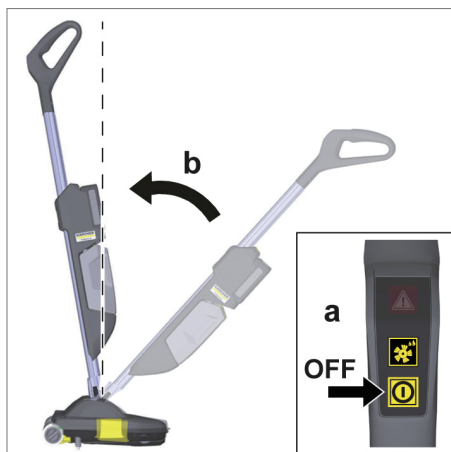
クリーニング終了後は、毎回流水でマイクロファイバーローラーを洗うか、洗濯機でマイクロファイバーローラーを洗ってください。

#### マイクロファイバーローラーに柔軟剤を使用したり、衣類乾燥機で乾燥させない

洗濯機でマイクロファイバーローラーを洗うときは、柔軟剤を使用しないでください。衣類乾燥機にマイクロファイバーローラーを入れないでください。マイクロファイバーローラーを漂白したり、アイロンをかけたりにしないでください。

## 1.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。



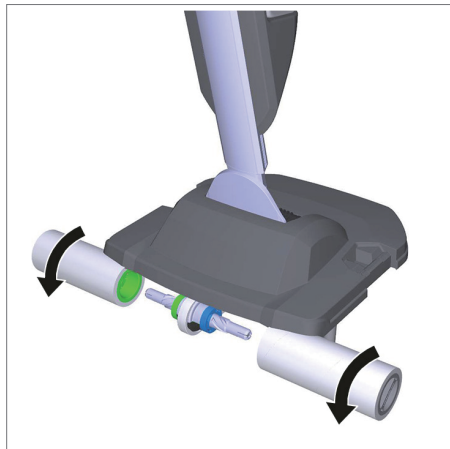
## 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動しま

す P.6 「操作に関する一般的な注意事項」を参照）。

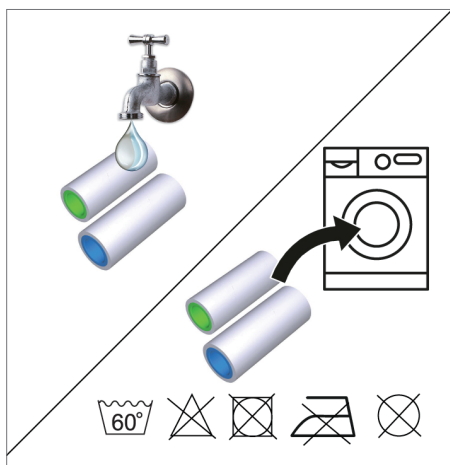
## 3.

マイクロファイバーローラーの側面にあるくぼんだグリップをつかみ、マイクロファイバーローラーを回して外します。



## 4.

マイクロファイバーローラーを流水で洗浄するか、または洗濯機で洗います。最大 60°Cのお湯で洗えます。

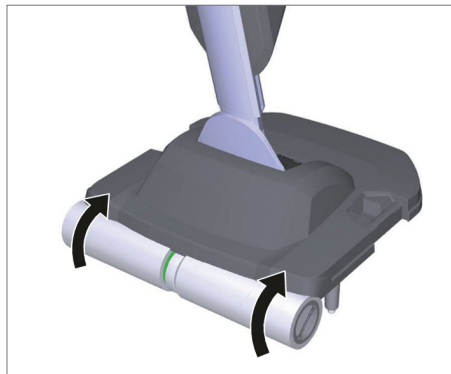


## 5.

ローラードライブを湿った布で清掃します。

## 6.

マイクロファイバーローラーを回してローラードライブに取り付けます。マイクロファイバーローラーの内側の色を確認して、同じ色のローラードライブに取り付けてください（緑と緑、青と青）。



## 7.

マイクロファイバーローラーは機器に取り付けるか、または直立させて自然乾燥させてください。

### 配水バーを清掃する

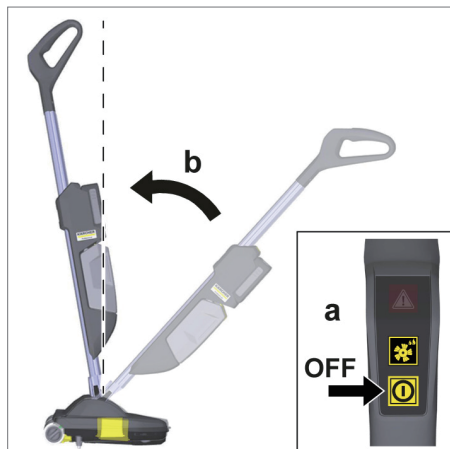
#### △ 注意

#### 機器に付着した汚れを放置しない

機器に付着した汚れは、機器に損傷を与えるおそれがあります。クリーニング終了ごとに機器を完全に清掃することをおすすめします。配水バーは定期的に清掃してください。

## 1.

ON/OFF スイッチを押して、機器の電源を OFF にします。



## 2.

ハンドルをパーキングポジションに移動します (P.6 「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

## 3.

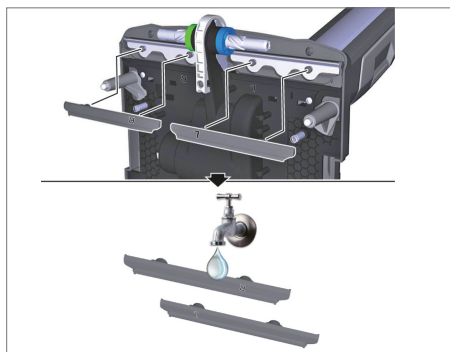
汚水タンクを取り外します (P.8 「汚水タンクを空にする」を参照)。

## 4.

マイクロファイバーローラーを取り外します (P.15 「マイクロファイバーローラーを清掃する」参照)。

## 5.

配水バーのカバーを取り外します。



#### 注意事項

配水バーのカバーと機器の「L」「R」マークを確認してください（配水バーのカバー取り付け時は、機器のマークに揃えて取り付けま



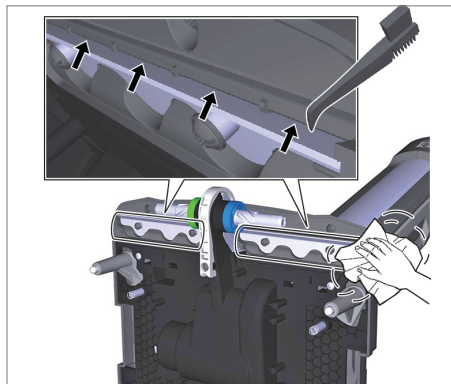
す)。

## 6.

流水で配水バーのカバーを洗浄します。

## 7.

湿った布で両方の配水バー(図で表示)を清掃します。



## 8.

水の入り口開口部(手順7の図の矢印で示した箇所)に汚れがないか確認し、必要に応じて付着した汚れをクリーニングブラシで取り除きます。

## 9.

配水バーのカバーを逆の順序で組み立てます。

## 故障かな?と思ったら

障害発生の原因は単純な場合が多く、以下の一覧表を参考にすればご自分で対処することができます。確信が持てない時や、該当する障害が記載されていない場合は認可カスタマーサービスまでご連絡ください。

### マイクロファイバーローラーが回転せず、警告ランプが点灯する

マイクロファイバーローラーに過度の圧力がかかっていたり、壁や角に押し付けられたりしたために、ドライブモーターの安全シャットダウンが作動しました。

- ON/OFF スイッチを2回押します。
- クリーニング時は機器を前後に動かすのみにして、機器に圧力をかけないでください。

### マイクロファイバーローラーが詰まっています。

- マイクロファイバーローラーに物がひっかかって動かなくなっていないか確認します。ひっかかっている物体を取り除きます。
- プレスイープに汚れが蓄積していないか確かめ、蓄積していたら取り除きます(P.14「プレスイープを清掃する」を参照)。
- プレスイープが正しく装着されているか確認します。これを行うには、プレスイープを取り外して再度装着します。

### 機器のスイッチがONにならない

#### バッテリーの残量が空です。

- バッテリーホルダーからバッテリーを取り出して充電します(P.10「使用の終了」を参照)。
- 充電済みのバッテリーを、カチッと音がしてはまるまでバッテリーホルダーにスライドさせて装着します(P.5「バッテリーを装着する」を参照)。

#### バッテリーが充電式バッテリーホルダーに正しく装着されていません。

カチッと所定の位置にはまるまで、バッテリーをバッテリーホルダーにスライドさせて装着します(P.5「バッテリーを装着する」を参照)。

### 汚れ落ちが悪い

#### 清水タンクに水がありません。

清水タンクに水を充填します (P.5「清水タンクを充填する」を参照)。

**清水タンクが機器に正しく取り付けられていません。**

清水タンクを機器にしっかりと固定されるように装着します。

**汚水タンクがないか、機器に正しく取り付けられていません。**

・カバーが汚水トレイに正しく取り付けられているかどうかを確認します (P.13「汚水タンクを清掃する」を参照)。

・汚水タンクを機器に装着し、正しく固定します。

**プレスイープがないか、汚水タンクに正しく取り付けられていません。**

プレスイープを汚水タンクに正しく装着します (P.14「プレスイープを清掃する」を参照)。

**マイクロファイバーローラーがないか、機器に正しく取り付けられていません。**

マイクロファイバーローラーを装着するか、ローラードライブに正しくねじ込みます (P.15「マイクロファイバーローラーを清掃する」を参照)。

**マイクロファイバーローラーが汚れているか、摩耗しています。**

マイクロファイバーローラーを清掃または交換します。

**配水バーが汚れています。**

配水バーを清掃します (P.16「配水バーを清掃する」を参照)。

**マイクロファイバーローラーが乾燥しすぎている**

マイクロファイバーローラーが十分に湿っていません。ブースト機能を有効にして、マイクロファイバーローラーを湿らせます (P.6「操作に関する一般的な注意事項」を参照)。

**清水フィルターが汚れています。**

清水フィルターを清掃します。



①清水タンクを取り外します (P.5「清水タンクを充填する」を参照)。

②清水フィルターを取り外します。

③清水フィルターを流水で洗浄します。

④逆の順序で組み立てます。

**洗浄結果が不十分**

**マイクロファイバーローラーが、初回使用の前に洗われてませんでした。**

お湯で洗います (40℃～60℃)。

**マイクロファイバーローラーが汚れています。**

マイクロファイバーローラーを清掃します。

**マイクロファイバーローラーが十分に湿っていません。**

ブースト機能を有効にして、マイクロファイバーローラーを湿らせます (P.8「クリーニングを開始する」を参照)。

**配水バーが汚れています。**

配水バーを清掃します (P.16「配水バーを清掃する」を参照)。

**使用した洗浄剤の種類が間違っているか、または投与量が間違っています。**

指定されたケルヒャー製の洗浄剤のみを使用し、正しい投与量を確認してください。

**他社製の洗浄剤が床に残っています。**

・マイクロファイバーローラーから洗浄剤の残留物を水で完全にに取り除きます。

・機器で床を数回クリーニングし、床に残った洗浄剤を取り除いた後に、マイクロファイバーローラーを水で清掃します。

**吸水が適切に行われていない**

**プレスイープが機器に正しく取り付けられていません。**

プレスイープを機器に正しく装着します (P.14「プレスイープを清掃する」を参照)。

**マイクロファイバーローラーが摩耗しています。**

マイクロファイバーローラーを交換します (P.15「マイクロファイバーローラーを清掃

する」を参照)。

### 機器から汚水が漏れ出す

汚水タンクがいっぱいです。

汚水タンクを空にします (P.8「汚水タンクを空にする」を参照)。

汚水タンクが機器に正しく取り付けられていません。

汚水タンクを機器に正しく装着します (P.8「汚水タンクを空にする」を参照)。

プレスイープが機器に正しく取り付けられていません。

プレスイープを機器に正しく装着します (P.14「プレスイープを清掃する」を参照)。

汚水タンクが損傷しています。

認可カスタマーサービスまでお問い合わせください。

## 保証

保証書は日本国内でのみ有効です。保証期間中は、製造上の欠陥が原因とみられる故障に関しては無料で修理を致します。補償請求の際は、必ず販売日を証明するものをご提示ください。消耗品や正常劣化・寿命の場合、また販売日を証明する書類のご提示がない場合は、有償となります。ユーザー登録をして頂くと製品（アクセサリパーツ、洗浄剤を除きます）の保証期間が2年に延長されます。

## 付属品と交換部品

純正のアクセサリおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより機器を安全にトラブルなくご使用できます。アクセサリやスペアパーツに関する詳細については、[www.kaercher.com](http://www.kaercher.com) をご覧ください。

### スペアパーツリスト

必ずケルヒャーの純正バッテリーを使用してください。

名称	注文番号
マイクロファイバーローラー、標準、グレー/ブルー	4.030-088.0
マイクロファイバーローラー、ストーン、ハード、グレー/グリーン	4.030-126.0
充電式バッテリーパック バッテリーパワープラス 18/30	2.445-042.0

バッテリーパワープラス 急速充電器 18/60	2.445-044.0
-------------------------	-------------

## テクニカルデータ

BP 30 /1 C Bp

### 電気コネクタ

公称電圧	V	18 DC
定格出力	W	70
保護クラス	⚡	III
保護分類		IPX4

### 装置のデータ

1分あたりのローラー回転数クリーニングレベル1	rpm	500
1分あたりのローラー回転数ブースト機能	rpm	650
フル充電時の稼働時間	min	45

### 充填量

清水タンクの容量	ml	1000
汚水タンクの容量	ml	700

### 度量衡

重量 (付属品および洗浄液なし)	kg	6.1
長さ	mm	340
幅	mm	305
高さ	mm	1200

### EN 60335-2-72 に基づいて求めた値

手および腕における振動値	$m/s^2$	0.4
不確実性 K	$m/s^2$	0.2
音圧レベル $L_{pA}$	dB(A)	55
不確実性 $K_{pA}$	dB(A)	2
音響出力レベル $L_{WA}$ + 不確実性 $K_{WA}$	dB(A)	71

技術的な変更が行われることがあります。



**THANK YOU!**  
**MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!**

## ▶ 延長保証について

品質に自信があるからこそその長期保証。  
お客様が安心してお使い頂けるためのアフター  
サービスを提供しています。  
ユーザー登録をしていたらと製品(アクセサリ、  
パーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に  
延長されます。

※ご購入後 30日以内に、当社ホームページから  
ユーザー登録が必要です。  
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせて  
いただきます。

製品の登録はこちらから



[https://www.kaercher.com/jp/service/support\\_pro/registry.html](https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html)

## ▶ 製品のご用命、仕様に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター  
Tel:045-777-7410      FAX:045-777-7411  
受付時間:9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日、当社休日を除く)

## ▶ 製品の故障、修理、技術に関するお問い合わせ

サービスフロント  
お電話の際は事前に下記項目をご確認の上ご連絡ください。  
①機種名 ②故障状況 ③保証書  
TEL:0570-78-3140(ナビダイヤル)  
受付時間:9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日、当社休日を除く)

ホームページからのお申し込み受付  
<https://forms.gle/RzbPVHMdGowcGx598>

一般修理依頼フォーム(診断・見積)



**KÄRCHER**

ケルヒヤー ジャパン株式会社